

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	高津区第1グループ(上作延・高津)	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H28	H29	H28	H29		
	1 上作延こども文化センター ①年間延べ利用者数	35,147人	37,387人	②年間延べ利用団体数	427団体	420団体
収入実績	2 上作延小学校わくわくプラザ ①登録者数	299人	334人	②年間延べ利用者数	19,978人	24,638人
	3 南原小学校わくわくプラザ ①登録者数	156人	127人	②年間延べ利用者数	10,029人	8,578人
高津こども文化センター	1 高津こども文化センター ①年間延べ利用者数	50,796人	51,843人	②年間延べ利用団体数	177団体	162団体
	2 高津小学校わくわくプラザ ①登録者数	478人	524人	②年間延べ利用者数	36,594人	41,504人
下作延小学校わくわくプラザ	3 下作延小学校わくわくプラザ ①登録者数	208人	201人	②年間延べ利用者数	14,987人	16,189人
	4 久地小学校わくわくプラザ ①登録者数	457人	470人	②年間延べ利用者数	24,813人	24,902人
収支実績	単位:円					
	1 収入 指定管理料			125,621,702		
	2 支出 人件費 管理費 事務経費 その他経費 合計			105,357,643 8,219,057 6,291,658 7,039,599 126,907,957		
3 差引			-1,286,255			
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。					

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・上作延こども文化センターでは、新たな取組として、6年生を中心とした読み聞かせグループ「ベイビーガールズ」を児童自らの発案・企画で結成し、幼児から成人を対象にして、絵本の読み聞かせや風船遊び等の交流を行い、異年齢交流が図られた。 ・高津こども文化センターでは、昨年度同様に、「ダンボール迷路で遊ぼう!」を実施した。今年度は、対象を幼児まで拡大し、積極的に広報を行うとともに、実施日時を3日間から4日間に増やす等、改善を行うことで、延べ478名の参加があり、昨年よりも大幅に参加者が増加した。 ・南原小学校わくわくプラザでは、小規模であることを強みとして、一人一人の自主性を重んじ、「こども運営会議わくわくキッズ」、行事毎に企画・運営を行う「子ども実行委員会」、手軽に大会が企画できる「誰でも大会長」、外遊びの準備体操や号令をかける「外遊びリーダー」等、子どもたちのやりたいことを実現できる手段を多数用意し、児童の健全育成が図られている。 ・こうした取組の結果、全体の利用者数が、昨年度と比較し、約3300人増加した。					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	3	6
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
(評価の理由) ・利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通じて、利用者ニーズ把握に努め、購入図書や行事改善、新たな行事企画等、利用者ニーズ把握に努めている。特に、久地小わくわくプラザでは従来、「マンカラ・オセロ大会」に定員を設けていたが、参加できなかった児童から利用者アンケートで要望があったため、時間枠を長くすることで定員をなくして、参加を希望する児童が全員参加出来るようにする等、利用者ニーズに応じた、柔軟な対応がなされている。 ・特別な配慮を要する利用者への対応について、支援級担当教諭や保護者等と密に情報共有を図るとともに、「特別な支援を必要とする児童との対応研修」や市主催研修、区役所が主催する肢体不自由児についてのカンファレンス会議に参加し、職員資質向上に努めている。特に久地小学校わくわくプラザでは、肢体不自由児も含めて全員が一緒に遊べるように、外遊びのプログラムを工夫した。 ・学校及び行政機関との連携について、新たな取組として、高津区地域まもり支援センター及びお年寄りいこいの家と連携し、幼児親子から高齢者までを対象として、「豆アート」や「上作木育体験」を実施する等、地域主体と連携した取組がなされている。 ・施設・事業の広報については、ホームページやおたより等多様な媒体を用いて積極的な広報を行っている。また、中高生だよりを近隣の中学に配布するなど、対象年齢を捉えた取り組みを行った。特に、高津こども文化センターでは、今年度新たに乳幼児だよりを発行して、近隣の保育園に配布した。					

組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。 職員の研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修が行われていた。また、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しており、研修資料やレポートをファイル等に一元化し、職員が閲覧出来る等、共有化の仕組み作りが出来ている。特に、研修を受講した職員が講師となり、他の職員やわくわくプラザスタッフへ研修を行っているほか、グループ研修として、レクリエーション研修を実施し、集団レクリエーションゲームを学び、その成果は、「みんなであそぼう!」のアイスブレイキングとして、「パースディーライン」ゲームを取り入れること等で活かされている。 個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実は無かった。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	4	4
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3
		災害発生時に備えた対応が図られているか。			
		災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。			
	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を定期的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。特に、上作延小学校わくわくプラザでは、階段の手すりを既設のものと同様の低い位置に増設したことで、低学年の児童や肢体不自由の児童も昇り降りしやすくなり、市民サービス向上に繋がった。 利用者の安全確保については、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、実際の事故やヒヤリハット事例をもとに法人本部で「事例検討シート」を年2回作成し、館長会議、各館での職員会議、スタッフ会議と三階層において議論を重ね、そこで得られた対応策を集約して共有するなど、職員等の資質向上を図っている。また、AED研修やアレルギー研修を受講する等、職員の資質向上や意識づけが行われている。また、事故事例やヒヤリ事例はパートナー会議で共有されるほか、アクシデントノート・パートナー連携ノートによる、日々の共有体制も整っている。 防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。また、学校と合同避難訓練を実施している。 				
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。 					

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

指定管理者制度導入以前の管理委託時代から、こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営を行っていた長年の経験を活かし、法人本部を中心に、全市規模、区規模の合同行事や様々な職員研修が体系的に実施されており、それらの取組により、良質かつ均質なサービスの提供が行われている。各館においても、高津区役所地域みまもり支援センターとの連携のもと、老人いこいの家や保育園との交流事業を積極的に進めた。また、各わくわくプラザでは、身体障害児を含めた、特別な配慮を要する児童への対応を、個々の児童の特性に応じて、ハード・ソフト両面において、丁寧かつ適切に行っている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子どもも顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。